

科目名	イグナイト教育1A			ナンバリング	IGN111	授業形態	演習
対象学年	1	開講時期	通年	科目分類	必修	単位数	3単位
代表教員	野原幸男	担当教員	蛸名,金,菊池,櫻井,奈良,松本,村田和,山崎直,吉川,坂本,田島,角田,福地,住谷,石川,江藤,久保田,佐藤陽,佐藤龍,永田				

授業の概要	薬剤師を目指す学びのためのリテラシー(知識を活用し問題を解決する能力:「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」)の基盤を形成する。アクティブ・ラーニングを通してコンピテンシー(自分を取り巻く環境に働きかけ対処する力:「対課題」「対人」「対自己」)育成のための基盤作りを目指す。医療人として卒業後の目標に到達できるよう、学生時代になすべき目標を設定し、それに向かって主体的に行動できる力を身につける。						
到達目標	①提出物を締切りまでに提出する習慣を身に付ける。②提出物や配布資料等をファイル化(ポートフォリオの作成)する習慣を身に付ける。③振り返りの習慣を身に付ける。④薬剤師の多様な役割を説明することができる。⑤他人の話の聴くことができる。⑥自分と異なる意見を聞くことができる。⑦自分の考えを伝えることができる。⑧発言や文章に論理性(整合性)がもてる。⑨生活目標を定め、目標に向けた生活の自己管理ができる。⑩学習目標を定め、目標に向けた学習習慣を身につける。⑪KJ法やマインドマップで情報を整理することができる。⑫講義中のキーワードを見つけ、振り返りに必要な聴講メモを作成できる。⑬聴講メモや下調べを用いて文章を書くことができる。⑭予習(下調べ)やレポートの文献を検索することができる。⑮薬学生として適切なコミュニケーションをとることができる。⑯相手に伝わるプレゼンテーションをすることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講話内容の下調べやレポート課題が課せられるので、manab@IMUを毎回チェックすること。タブレットは自宅で充電とシステムの更新を行い毎回持参すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
	○	4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1) 自分が目指す薬剤師の姿をイメージできている(到達目標④) 2) 自分の目標を設定しそれに対して必要な知識や情報を収集できている(到達目標⑪⑫⑬⑭) 3) 設定した目標に向かって主体的に行動できる(到達目標①②③) 4) 自己管理することができている(到達目標⑨⑩) 5) 自分の意見と他者の意見をまとめることができる(到達目標⑤⑥⑦⑧⑯) 6) コミュニケーションをとることができる(到達目標⑮)	1) 自分が目指す薬剤師の姿をイメージした、積極的な態度が身に付いている 2) 自分の目標を設定しそれに対して必要な知識や情報を活用できている 3) 設定した目標に向かって主体的に行動できる習慣を身につけている 4) 自己管理することができて、学習に対する積極的な態度が身に付いている 5) 自分の意見を明確に述べるができる 6) 積極的にコミュニケーションをとることができる

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○			○		47%
授業態度・授業への参加				○			45%
概略評価					○		8%
提出物			○	○			加点はせず、未提出は減点する。
出席			○	○			加点はせず、欠席は減点することがある。

課題、評価のフィードバック	各チューターが毎回提出物にコメントを書き込み、生活や学習面について指導を行う。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	新入生コミュニケーション研修	1 イグナイト教育におけるフレッシュャーズセミナーを説明する	
	第2回	オリエンテーション	1 履修計画を作成する 2 チーム名を決定する	
	第3回	図書館ツアー	1 図書館の効果的な利用法についての図書館ツアーに行く 2 グループロゴを作成する	
	第4回	スタディスキルズ・チューデントスキルズの基本①	1 勉強の仕方や試験の受け方について先輩から講話を聴く 2 勉強の仕方と目標の設定をする	
	第5回	スタディスキルズ・チューデントスキルズの基本②	1 ノート(聴講メモ)のとり方、レポートの書き方の基本を説明する 2 キャンパス内外でのマナー説明する	
	第6回	新聞記事のトピックスから	新聞記事のトピックスから必要な情報を収集整理を行う	
	第7回	KJ法の理論と実践	KJ法による情報の収集整理の方法の説明と小グループ討論(SGD)を行う	
	第8回	話し方講座—コミュニケーションとは何か	相手に伝わる話し方について講話を聴く	SBO:A-(3)-① -1~3,7~9
	第9回	社会で働く力	リテラシーとコンピテンシーについて説明する	
	第10回	薬局薬剤師・病院薬剤師の仕事と役割	薬局薬剤師・病院薬剤師の仕事と役割について講話を聴く	SBO:A-(1)-② -1~3
	第11回	自分の通う大学について学ぶ①	1 大学内の部署・施設と大学教職員の役割について施設見学に行く 2 壁新聞を作成する	
	第12回	自分の通う大学について学ぶ②	作成した壁新聞について全体発表を行う	
	第13回	患者さんから学ぶ①	映画を鑑賞し「命」「家族」「絆」について考える	SBO:A-(1)-① -5,6
	第14回	患者さんから学ぶ②	患者さんから自身の病気に関して講話を聴く	SBO:A-(2)-① -1~4
	第15回	前期の振り返り	前期の振り返りについて個人発表を行う	SBO:A-(1)-④ -1~4
	試験	試験は実施しない。		

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第15回	卒業生に学ぶ	卒業生が過ごした学生時代について講話を聴く	SBO:A-(5)-④-1,2
	第16回	マインドマップ作成演習①	1 マインドマップについて解説する 2 提示された課題についてマインドマップを作成する	
	第17回	マインドマップ作成演習②	作成したマインドマップについて全体発表を行う	
	第18回	いわき明星大学薬学部の宣伝用壁新聞①	1 いわき明星大学の歴史について解説する 2 いわき明星大学内を探索する	
	第19回	いわき明星大学薬学部の宣伝用壁新聞②	薬学部の宣伝用壁新聞を作成する	
	第20回	いわき明星大学薬学部の宣伝用壁新聞③	作成した壁新聞についてポスター発表を行う 研究に必要な独創的な考え方、能力、態度について講話を聴く	
	第21回	研究活動に求められる心構え	研究に必要な独創的な考え方、能力、態度について講話を聴く	SBO:G-(1)-1~4
	第22回	製薬企業のリアル①	製薬企業での仕事について講話を聴く	SBO:B-(2)-②-1~5
	第23回	製薬企業のリアル②	製薬企業での仕事についてまとめる	
	第24回	科目のつながり①	1 薬学部で学ぶ科目のつながりについて説明する 2 科目のつながりを考える	
	第25回	科目のつながり②	科目のつながりを示すポスターを作成する	
	第26回	科目のつながり③	作成した科目のつながりを示すポスターについて発表する	
	第27回	1年間の振り返り	1年間の振り返りについて個人発表を行う	
	第28回			
第29回				
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方	グループ活動を基本とするため、10人程度が1グループとして編成される。各グループに先導役を兼ねるチューター教員2名が配置され、2チームに分けて担当する。このチューターはスタディー・ライフの相談役でもある。			
授業外学習の指示	【宿題】講義中に出題される課題を行う。 【復習】講義中の配布資料を読み返す。manab@IMUに蓄積されるポートフォリオを用いて学習内容の振り返りをする事。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	毎回の配布資料
参考書	大学基礎講座 改増版 充実した大学生活を送るために、藤田哲也編著 ISBN978-4-7628-2484-5 北大路書房、2,052円
参考URLなど	なし
その他	(薬剤師として求められる基本資質)①②③⑨ 講師の都合等でプログラムや日程の変更する場合がある。ポートフォリオの内容60%、受講態度(提出物の確認表、相互評価、教員評価)40%により評価する。 大学独自:70%

